

学校教育目標

未来を生きる力を育てる

～人とつながり、全力で取り組み、憧れをもって未来を拓く子どもの育成～

1 学校運営の中期目標

現状と課題

2校の統合により、違った環境（集団）の中で育ってきた児童と一緒に学校生活を送ることになる。共に学習する集団として、一人一人が自分の考えや思いを表現し表出できる関係づくりを進めていくことが、土台作りとして必要であると考えている。

学力状況は、昨年度の学習理解度到達度診断では、2校ともきびしい状況があった。児童自らが主体的に学び、「わかった」「できた」を味わうことができる授業を創造していくことが大切であると考えている。

体力面では、50m走や立ち幅跳びなどでは成果が出てきているが、柔軟性や投げる力などには課題がある。人数が増えて運動場の使い方など遊びを通しての体力づくりには工夫が必要であると考えている。

基本的な生活習慣については、決まった時刻に寝る・起きる児童が少なく、朝食を食べずに登校する児童が大阪市平均よりも多いのが現状である。また、テレビの視聴時間やゲームをする時間が長いのも特徴である。家庭での時間の使い方を考えさせ、有効な時間管理ができる力をつけさせることも将来の自立と自律に向けて必要である。

中期目標

【視点 学力の向上】

- 平成28年度に実施される「大阪市小学校学力経年調査（3～6年国語・社会・算数・理科の教科に関する調査）」において、各学年の国語・算数における平均正答率が〔大阪市の平均正答率－5〕ポイントを超える。【カリキュラム改革関連】
- 平成28年度の学校生活アンケートにおける、「宿題以外の学習を進んでいますか」の項目について、「そう思う・どちらかといえばそう思う」の数値を70%以上にする。【カリキュラム改革関連】
- 平成28年度の学校生活アンケートにおける、「自分の思いや考えを、みんなに発表していますか。」の項目について、「そう思う・どちらかといえばそう思う」の数値を75%以上にする。【カリキュラム改革関連】

【視点 道徳心・社会性の育成】

- 平成28年度の学校生活アンケートにおける「あいさつ」の項目について、肯定的な回答の割合が、80%以上とする。【カリキュラム改革関連】
- 平成28年度に実施される「大阪市小学校学力経年調査（3～6年学習・生活状況等に関する調査）」において、自尊感情・自己有用感に関する設問項目の肯定的な回答が大阪市平均を上回るようにする。【カリキュラム改革関連】

[視点 健康・体力の保持増進]

- ① 平成 28 年度に実施される「大阪市小学校学力経年調査（3～6 年学習・生活状況等に関する調査）」において、「朝食の喫食」に関する設問の回答の肯定的な回答が、大阪市平均を上回るようにする。 **【ガバナンス改革関連】**
- ② 平成 28 年度の学校生活アンケートにおける、「体を動かすことが好きですか。」という項目について、1 回目より 2 回目のほうが肯定的な回答が増えるようにする。 **【カリキュラム改革関連】**
- ③ 養護日誌の記録で、校内のけがを前年度より減少させる。 **【ガバナンス改革関連】**

2 中期目標の達成に向けた年度目標

[視点 学力の向上]

- ① 平成 28 年度に実施される「大阪市小学校学力経年調査（3～6 年国語・社会・算数・理科の教科に関する調査）」において、各学年の国語・算数における平均正答率が〔大阪市の平均正答率－5〕ポイントを超える。【カリキュラム改革関連】
- ② 平成 28 年度の学校生活アンケートにおける、「宿題以外の学習を進んでいますか」の項目について、「そう思う・どちらかといえばそう思う」の数値を 60%以上にする。【カリキュラム改革関連】
- ③ 平成 28 年度の学校生活アンケートにおける、「自分の思いや考えを、みんなに発表していますか。」の項目について、「そう思う・どちらかといえばそう思う」の数値を 75%以上にする。【カリキュラム改革関連】

[視点 道徳心・社会性の育成]

- ① 平成 28 年度の学校生活アンケートにおける「あいさつ」の項目について、肯定的な回答の割合が、80%以上とする。【カリキュラム改革関連】
- ② 平成 28 年度に実施される「大阪市小学校学力経年調査（3～6 年学習・生活状況等に関する調査）」において、自尊感情・自己有用感に関する設問項目の肯定的な回答が大阪市平均を上回るようにする。【カリキュラム改革関連】

[視点 健康・体力の保持増進]

- ① 平成 28 年度に実施される「大阪市小学校学力経年調査（3～6 年学習・生活状況等に関する調査）」において、「朝食の喫食」に関する設問の回答の肯定的な回答が、大阪市平均を上回るようにする。【ガバナンス改革関連】
- ② 平成 28 年度の学校生活アンケートにおける、「体を動かすことが好きですか。」という項目について、1 回目より 2 回目のほうが肯定的な回答が増えるようにする。【カリキュラム改革関連】
- ③ 養護日誌の記録で、校内のけがを前年度より減少させる。【ガバナンス改革関連】

3 本年度の自己評価結果の総括

【視点：学力の向上】

平成 29 年 1 月に実施した「大阪市小学校学力経年調査（3～6 年国語・社会・算数・理科の教科に関する調査）」において、各学年の国語・算数における平均正答率はどの学年も大阪市の平均正答率を下回っていた。学年が上がるとその差が大きくなっていた。

自主学習主観の育成については、学校生活アンケートで児童は 65.2% となって中間評価時より向上してきた。

自分の考えや思いを発表することについては、全体の場合での発表は全員するという時間は取れないので、ペアやグループでの話し合いや意見交換を取り入れてきた。アンケート結果としては目標に届かなかったが、授業等で工夫を続けている。

【視点：道徳心・社会性の育成】

あいさつについては肯定的な回答が増えてきて、地域の方にも自分からあいさつできる児童もいるが、まだ十分とは言えない。声をかけるとできる児童が多いので、今後も指導を続けていくことが必要だと考えている。

自尊感情・自己有用感に関しては、大阪市小学校学力経年調査の結果が学校としての数値がわからないので、学校生活アンケートから見ると、全体では 80% を超える児童が「自分には良いところがある」と答えている。経年調査の大阪市の数値は各学年 70% 前後となっており、本校の児童のアンケートが上回っている。今後も一人一人を大切にしたい取り組みを進める中で、集団育成を図っていききたい。

【視点 健康・体力の保持増進】

朝食の喫食についても大阪市小学校学力経年調査では、大阪市の数しかわからないので、保健のがんばりカードの結果で見ると、平日毎日食べている児童は、3 年生以上の各学年とも大阪市より多くなっている。

体を動かすことについては、好き・どちらかといえば好きと答える児童が増加している。統合アンケートで休み時間に外で遊ぶことが増えたという児童が 3 割以上おり、人数が増えて外で遊ぶことが増えたことも影響していると考えられる。

けがについては、今年度 3 月初めまでで 1 6 0 0 件ほどであった。前年度は、西淡路小学校と淡路小学校の合計で合計 2 7 5 2 件あったので、前年度比約 6 0 % に減少した。

大阪市立西淡路小学校 平成28年度 運営に関する計画（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

28年度目標	達成状況
<p>【視点 学力の向上】</p> <p>① 平成28年度に実施される「大阪市小学校学力経年調査（3～6年国語・社会・算数・理科の教科に関する調査）」において、各学年の国語・算数における平均正答率が〔大阪市の平均正答率－5〕ポイントを超える。 【カリキュラム改革関連】</p> <p>② 平成28年度の学校生活アンケートにおける、「宿題以外の学習を進んでいますか」の項目について、「そう思う・どちらかといえばそう思う」の数値を60%以上にする。 【カリキュラム改革関連】</p> <p>③ 平成28年度の学校生活アンケートにおける、「自分の思いや考えを、みんなに発表していますか。」の項目について、「そう思う・どちらかといえばそう思う」の数値を75%以上にする。 【カリキュラム改革関連】</p>	B

28年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を知る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【ICTを活用した『わかるできる』授業の創造】</p> <p>○ 各教科の学習においてICTを積極的に活用し、指導の活性化を図る。</p> <p style="text-align: right;">（カリキュラム改革関連）</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ICT機器を日常的に使える環境の構築 ● Wi-Fi環境だけでなく、LTE環境を利用した授業の創造 ● ICTを活用した学習形態の工夫（視覚化・共有化） 	A
<p>指導・活動・行事等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT研修会 ・ 各学年の授業研究会 ・ 教育センター等を利用した研修 ・ 朝の学習、各教科における授業 	
<p>取組内容② 【思考力の育成】</p> <p>○ 思考を活性化するために、アクティブラーニングを充実させる</p> <p style="text-align: right;">（カリキュラム改革関連）</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 能動的に問題解決するための学習形態の工夫 	B
<p>指導・活動・行事等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実際にやってみて考える、意見を出し合って考える、わかりやすく情報をまとめ直す、応用問題を解くなど、授業へいろいろな活動を導入 	

取組内容③【言語力の育成：語彙力・コミュニケーション力の育成】 ○ 学校図書館の活性化 ○ 英語の短時間学習を取り入れ、習慣化することで、英語に慣れ親しむ児童の育成。 (カリキュラム改革関連)	B
指標 ● 生活アンケートの読書に関する項目の数値を 70%以上にする。 ● 70%以上の児童が、英語が楽しいと言えるようにする。	
指導・活動・行事等 ・ 読書週間 ・ 朝の英語学習 ・ c-net と担任、担当による英語学習	
取組内容④【自主学習習慣の定着】 ○ 家庭学習の方法の紹介・自学ノートの積極的利用などの方法を探り、児童のみならず保護者へも啓発を行う。 (カリキュラム改革関連)	B
指標 ● 発達段階に応じて、自主学習ができるようなヒントや手立てを提示したり、自主学習で調べてみよう、まとめてみようと思えるような声かけをしたりする。 ● 中・高学年において、学校生活アンケートの自主学習の項目を設け、自主学習をしているという回答を 60%にする。	
指導・活動・行事等 ・ スモールステップで自主学習に取り組めるように、いろいろな方法を授業中や学年・学級だよりで紹介したりする ・ 読み書き計算の定着を図るための放課後学習支援を進める。	
取組内容⑤【小中一貫教育及び研修を生かした教科指導の充実】 ○ 小中両校の教員による相互乗り入れ T T の実現や両校施設の相互利用を促進する。 (カリキュラム改革関連)	B
指標 ● 6 年生金曜日登校を年 20 回以上実施 ● 中 1 生徒数学授業への小学校教員による T T ● 小 6 児童理科・算数授業への中学校教員による T T	
指導・活動・行事等 ・ 6 年生金曜日登校を年 20 回以上実施 ・ 中 1 生徒数学授業への小学校教員による T T ・ C-net の小中利用 ・ 小中教員が協働した理科授業の実施	

平成 28 年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

〔視点 学力の向上〕

「授業が楽しい・わかる」と答えた児童が 90%以上いたのは、授業で有効な ICT 活用を積極的に取り組んだ成果であると考えられる。有効に活用できる授業形態を研究することが、児童のアクティブラーニングを促すことにもつながったといえる。

目標③「自分の思いや考えを発表している」と答えた児童は 71.8%で、目標の 75%には達することはできなかった。学級全体で発表する機会はもてなくても、ペアやグループで伝え合う場は設定している。

取組③英語学習については、週 3 回の朝のモジュール学習が定着し、80%以上の児童が「楽しい」と答えている。一方、落ち着いて読書する習慣が身につくような時間を確保することができず、「進んで読書する」と答えた児童は 62%にとどまった。

取組④「自主学習に取り組む」のアンケート結果、中間評価では、児童 58.8%・保護者 50%が最終評価では、児童 65.2%・保護者 53.6%で、取り組みの結果、児童の意識は高まり、目標の 60%以上を達成することができた。

取組⑤ 6 年の中学校登校については、20 回以上実施することができた。中学校には ICT 環境が整っていないため、不都合も生じた。また、移動に時間がかかり、金曜日登校は児童から不便だという声もあり、改善していく必要がある。

次年度（今後）への改善点

ICT 活用することで児童は興味関心をもち主体的に学習に取り組むことができたため、今後、児童の意欲が持続できるように、知識を活用し自分の考えをもち共感し合い深い学びとなるような授業研究を進める必要がある。

また「自分の思いや考えを発表しているか」ではなく、「ペアやグループで伝え合うことができたか」とアンケートの表現を変えることで、児童の達成感を引き出したい。

取組③英語学習については、今年度は初めての取り組みで楽しんで学習することができたが、少し慣れが見られる。そのため、新しい教材を提示できるように、英語の本を手にしやすい場所に設置し、「教師による英語の絵本読み聞かせ研修」を短時間で行うようにする。また、学校で読書習慣を身につけることができるように、朝の英語タイムを週 2 回（水・金）にし、読書タイムを週 1 回（火）行うようにする。また引き続き、タブレット PC を学校図書館に持ち込み、調べたことや読んだ本の写真を撮り共有するなど ICT と図書館の利用を活性化させる。

取組④自主学習では、低学年で漢字や計算のような「バッチリメニュー」だけではなく、興味関心を引き出す「ワクワクメニュー」に取り組む習慣を身につけるようにする。高学年では、まず毎日の宿題をやり終えることができるように取り組む必要がある。

取組⑤小中連携については、中学校登校（理科・算数・外国語）では、ICT 環境の面で不便さを児童も感じているため、中学校教員がゲストティーチャーとして来校する機会を増やしたり、小中クリーンピックなどのような交流の仕方を工夫する。

大阪市立西淡路小学校 平成28年度 運営に関する計画（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

28年度目標	達成状況
【視点 道徳心・社会性の育成】 ① 平成28年度の学校生活アンケートにおける「あいさつ」の項目について、肯定的な回答の割合が、80%以上とする。 【カリキュラム改革関連】 ② 平成28年度に実施される「大阪市小学校学力経年調査（3～6年学習・生活状況等に関する調査）」において、自尊感情・自己有用感に関する設問項目の肯定的な回答が大阪市平均を上回るようにする。 【カリキュラム改革関連】	A

28年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【気持ちのよいあいさつの習慣を確立】 ○ あいさつ運動などの活動を充実させ、自ら進んであいさつできるよう指導する。 （マネジメント改革関連）	B
指標 ● 学校生活アンケートにアンケート項目を設け、進んであいさつしている児童を、80%以上にする。	
指導・活動・行事等 ・毎学期のあいさつ週間 ・淡路中学校との連携 ・児童会と各学級によるあいさつ運動	A
取組内容②【キャリア教育の推進】 ○ 将来への希望や意欲を持ち、自他を大切にできる心情を育む。 （カリキュラム改革関連）	
指標 ● ドリームリーダー（ゲストティーチャーやボランティアのこと）との出会いの場を設定し、人や職業に憧れる体験を進める。	
指導・活動・行事等 ・地域の歴史を聞いたり、大阪体験でのフィールドワークをしたりして出会いの場を設ける。 ・体験学習などをよりよく理解するための前後の指導。	

<p>取組内容③【特別支援・多文化共生教育を基本とする人権感覚の育成】</p> <p>○ 一人ひとりの違いを認め合う集団作りを行い、課題の大きい児童、特別支援児童、外国籍児童等が活躍し、共に生きる態度を育てる。</p> <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ●多文化交流会を計画実施し、様々な文化を学習し、理解を図る。 ●学期に1回仲間を考える集会、週間を実施し、相手のことを理解し、思いやる心情を育てる。 ●異学年交流会（一年生と遊ぶ会等）を通して、お互いの違いを認め理解し合う。 ●道徳教育や人権教育とも関連付けをしながら取り組みを深めていく。 <p>指導・活動・行事等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヨロブアンニョンハセヨなどの活動。 ・仲間を考える集会や週間、縄跳び週間等。 ・異学年交流会(特別支援理解の場)などの行事。 	A
<p>取組内容④【豊かな情操や感性の育成】</p> <p>○ 観劇や音楽鑑賞、様々な表現活動を通して、豊かな情操や感性をはぐくむ。</p> <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ●芸術鑑賞会を年に1回以上実施するとともに、演劇や合唱等の様々な表現活動を通して豊かな情操や感性を養うとともに鑑賞の態度やマナーを身に付けさせる。 <p>指導・活動・行事等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習発表会等の表現活動。 ・さまざまな学校全体での取り組み。 	A
<p>取組内容⑤【学校全体で集団育成による自尊感情・自己有用感の育成】</p> <p>○ 様々な行事、活動を通して、集団育成の場を設け自尊感情を育てる。</p> <p style="text-align: right;">(カリキュラム改革関連)</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ●集会等での各学年の発表や(子どもの集い(仮))等の集団育成の活動を充実させる。 <p>指導・活動・行事等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週の児童集会 ・(子どもの集い(仮))等での役割分担 ・縦割り遠足、卒業生を送る会等での憧れの継承 	A

平成28年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

〔視点 道徳心・社会性の育成〕

- ・アンケートの結果は、あいさつについては肯定的な回答が増えてきて、地域の方にも自分からあいさつできる子もいるが、まだ十分とは言えない。
- ・ドリームリーダーや出前授業を活用することによって、学習の充実が図られた。
- ・多文化共生・特別支援教育をベースとした行事を年間を通して行うとともに、児童集会や児童会主催のたてわり活動などを通して、たてのつながり、集団育成を図ってきた。また、須賀の森フェスティバルなどでのたてわり活動では、6年生を中心として子供たちは本当によく頑張っていた。
- ・学習発表会、Gフェスにおいて学年それぞれ、思い思いの表現活動を行い、互いの学年の頑張りを認めることが出来た。また、その表現活動から豊かな情操や感性の育成を図った。

次年度（今後）への改善点

- ・集団育成のやり方を子どもたちの発達段階やニーズに合わせきめ細かく行う。
- ・「仲間づくり週間」ではなく、普段の授業から集団育成をしていく。集団育成をPDCAサイクルにのせ、子どもたちで課題を共有し、計画を立てやってみた結果を振り返り、次へ生かす。
- ・地域の方や、来校者にも進んであいさつできるような(進んで、目を見て等)目標設定が必要。
- ・「とりあえずやるだけやる」ではなく、成果と課題を省みないと「形」だけになっている。「仲間を考える集会」
- ・様々な文化があることが多文化交流である。今後の国際的な意識が広がっていくよう計画したい。
- ・職員間での児童理解の場の設定。
- ・挨拶や普段の生活態度からでも、もっと自分に自信が持てるように良いときは良いと声掛けを教職員全体でしていきたい。

大阪市立西淡路小学校 平成28年度 運営に関する計画（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

28年度目標	達成状況
<p>〔視点 健康・体力の保持増進〕</p> <p>① 平成28年度に実施される「大阪市小学校学力経年調査（3～6年学習・生活状況等に関する調査）」において、「朝食の喫食」に関する設問の回答の肯定的な回答が、大阪市平均を上回るようにする。【ガバナンス改革関連】</p> <p>② 平成28年度の学校生活アンケートにおける、「体を動かすことが好きですか。」という項目について、1回目より2回目のほうが肯定的な回答が増えるようにする。【カリキュラム改革関連】</p> <p>③ 養護日誌の記録で、校内のけがを前年度より減少させる。【ガバナンス改革関連】</p>	B

28年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【健康な基本的生活習慣の確立】</p> <p>○ 計画的な生活点検週間を実施すると共に、保護者への啓発を図る。 (ガバナンス改革関連)</p> <hr/> <p>指標</p> <p>● 点検項目の作成と、年2回の生活点検週間の実施</p> <hr/> <p>指導・活動・行事等</p> <p>・生活点検週間の結果を集計し、指導につなげる。</p>	B
<p>取組内容②【基礎的な体力の向上：授業の充実】</p> <p>○ 体育施設の整備を図り、体育授業の充実を図る。 (カリキュラム改革関連)</p> <hr/> <p>指標</p> <p>● 運動能力テストによる児童の体力の把握</p> <p>● 校内体育設備の点検整備</p> <p>● 中学校施設の利用</p> <hr/> <p>指導・活動・行事等</p> <p>・体育施設の環境整備を行う。</p> <p>・校内研修を計画し実施する。</p>	B
<p>取組内容③【基礎的な体力の向上：体育的活動の充実】</p> <p>○ 体力向上週間等を計画し、児童の実態に応じた体力の向上を図る。 (カリキュラム改革関連)</p> <hr/> <p>指標</p> <p>● 外遊びの充実</p> <p>● 体力向上週間の計画的実施</p>	B

指導・活動・行事等 ・かけ足週間 ・なわとび週間 ・学級遊び	
<p>取組内容④【健康で安全な生活の確立】</p> <p>○ けがなく安全に生活する方法を指導するとともに、校内整備を進める。 (ガバナンス改革関連)</p> <hr/> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 校内での遊び等のルールの確立 ● けが予防の指導や健康集会の実施 ● 校内安全点検 	B
指導・活動・行事等 ・校舎内で走ったり遊んだりしないように指導する。 ・集会等で正しい遊具の使い方や遊び方についてよびかけ、けがの予防を啓発する。	

平成28年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>【視点 健康・体力の保持増進】</p> <p>取組内容①【健康な基本的生活習慣の確立】</p> <p>年間計画をもとに実施できている。保健だより等での呼びかけも定期的に行い、児童への関心も促した。年間3回の生活点検の実施により、児童自身が生活を振り返ることができた。保護者から児童へコメントを書いてもらうことで、各家庭で意識して取り組む良い機会になっている。</p> <p>取組内容②【基礎的な体力の向上：授業の充実】</p> <p>統合した2校の備品を整理し利用しやすい環境を進めた。中学校はあまり有効活用できていない。設備や時間も小学校とは違うので利用しにくい移動に時間がかかることが問題点である。</p> <p>取組内容③【基礎的な体力の向上：体育的活動の充実】</p> <p>体力向上週間は、行事の合間に設定していたが、学級休業などの影響もあり、実施できないものもあった。かけ足週間はできなかったが、ラインが引いてあると自主的にかけ足に取り組む児童がいた。学習カードを有効的に活用し、積極的に取り組んでいた。</p> <p>取組内容④【健康で安全な生活の確立】</p> <p>けがの予防について健康委員会から呼びかけることで、意識づけることができた。児童数は増えたがけがの数は増えていない。外遊びに関しては、学校全体で遊び方のルールを設定しているが、遊具の使い方が適切でない場面も見られるので、引き続き指導が必要である。</p>
次年度（今後）への改善点
<p>取組内容①【健康な基本的生活習慣の確立】</p> <p>生活点検の実施は保護者への啓発につながったかもしれないが、点検表だけでは成果や課題が分かりにくいので、集計を行う必要がある。朝食の喫食を定着させることで、遅刻数の減少にもつなげられるよう声かけをしていく必要がある。</p> <p>取組内容②【基礎的な体力の向上：授業の充実】</p> <p>中学校の利用について、設備等小学生も利用しやすいように考えていく必要がある。</p> <p>取組内容③【基礎的な体力の向上：体育的活動の充実】</p> <p>暑い時期・寒い時期は特に教室に引きこもりがちになる児童もいるので、学級遊びなどをうまく活用して、外遊びを楽しめるよう声をかけていきたい。体力向上週間の時期については検討する必要がある。</p> <p>取組内容④【健康で安全な生活の確立】</p> <p>継続してけがの予防を呼びかけていく必要がある。また、廊下や階段の環境整備を行い校舎内での過ごし方についても呼びかけていくことや、朝や放課後の遊び方について詳細に検討することで、けがの数をさらに減らしたい。</p>

平成 28 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立西淡路小学校 学校協議会

1 総括についての評価

学力や体力、道徳心の育成など、子どもたちの「生活習慣」が深くかかわっている。地域で永年取り組んでいる「遅刻 0」運動などを、より発展させ、望ましい生活習慣が確立できるようにすることが大切である。

2 年度目標ごとの評価

年度目標：[視点 学力の向上]

- ① 平成 28 年度に実施される「大阪市小学校学力経年調査（3～6 年国語・社会・算数・理科の教科に関する調査）」において、各学年の国語・算数における平均正答率が〔大阪市の平均正答率－5〕ポイントを超える。【カリキュラム改革関連】
- ② 平成 28 年度の学校生活アンケートにおける、「宿題以外の学習を進んでいますか」の項目について、「そう思う・どちらかといえばそう思う」の数値を 70%以上にする。【カリキュラム改革関連】
- ③ 平成 28 年度の学校生活アンケートにおける、「自分の思いや考えを、みんなに発表していますか。」の項目について、「そう思う・どちらかといえばそう思う」の数値を 75%以上にする。【カリキュラム改革関連】

学校協議員より

- こどもの生活習慣が、学力や体力にも大きな影響を及ぼす。特に睡眠不足は学力、体力の低下やケガにもつながる。アメリカの児童は平均 9 時間以上睡眠をとっているという調査結果もある。
- 地域で取り組んでいる「朝ごはんやさん」の活動が遅刻の減少や早寝早起きにつながるように学校でも取り組んでほしい。

年度目標：[視点 道徳心・社会性の育成]

- ① 平成 28 年度の学校生活アンケートにおける「あいさつ」の項目について、肯定的な回答の割合が、80%以上とする。【カリキュラム改革関連】
- ② 平成 28 年度に実施される「大阪市小学校学力経年調査（3～6 年学習・生活状況等に関する調査）」において、自尊感情・自己有用感に関する設問項目の肯定的な回答が大阪市平均を上回るようにする。【カリキュラム改革関連】

学校協議員より

- いじめのアンケートを学期ごとに実施し、実態の把握と子どもへの聞き取りを継続して取り組んでほしい。
- 教育勅語を幼児に暗唱させている幼稚園が話題になっているが、平成 30 年から道徳が教科化される際に、形を変えて同じようなことがおきかねない。教科書だけを信じて頼るような指導ではなく、教員一人一人が信念を持って取り組めるよう、学校として今から準備を進めてほしい。

年度目標：[視点 健康・体力の保持増進]

- ① 平成 28 年度に実施される「大阪市小学校学力経年調査（3～6 年学習・生活状況等に関する調査）」において、「朝食の喫食」に関する設問の回答の肯定的な回答が、大阪市平均を上回るようにする。 **【ガバナンス改革関連】**
- ② 平成 28 年度の学校生活アンケートにおける、「体を動かすことが好きですか。」という項目について、1 回目より 2 回目のほうが肯定的な回答が増えるようにする。 **【カリキュラム改革関連】**
- ③ 養護日誌の記録で、校内のけがを前年度より減少させる。 **【ガバナンス改革関連】**

学校協議員より

- AWAKYO がすすめる「遅刻 0 運動（早寝・早起き・朝ごはん）」に TV やゲームに費やす時間を制限する活動を盛り込んでどうか。
- 朝食におにぎりや菓子パン 1 つだけ食べている子どももあり、朝食の内容にも気をつけていかなければならない。
- 体力向上にむけて、各測定値の個人データを記録するなど、子ども自身が成長を確認できる工夫があればと思う。目標にむけた動機付けにも活かせる。

3 今後の学校運営についての意見

- 「朝ごはんやさん」で一緒に食事をとることや誘い合って登校するなど、集団づくりをすすめることで子どもの生活習慣を変えてほしい。
- 長時間のテレビやゲーム、また親自身の生活がこどもの睡眠不足に影響している。家庭の協力なしでは解決できないので保護者にも継続して働きかける必要がある。